

日本技術士会 DEI 推進宣言

I 目指す姿

日本技術士会は、多様・多彩な技術者、技術をつなぐプラットフォームとして、誰もが能力を発揮し、誰もがその人らしく生きられる社会の実現に貢献します

II 趣旨

日本技術士会は技術士の品位の保持、資質の向上等を図ることにより、科学技術の向上や国民経済の発展、国際交流の推進に寄与し、さらには広く社会に貢献することを使命としています。

本会は多様な専門性を持つ高度な技術力と実践力を備えた技術士を擁し、この強みを活かすことで真価を一層発揮し、社会課題解決に貢献し得ます。

今日のような不確実性の高い時代において、本会の使命を果たし、強みを活かすためには、既成概念に囚われない柔軟な発想、多様な視点で社会課題の解決に向き合うことが必要です。

本会は、DEI^{*1}、すなわち多様性（Diversity）、公平性（Equity）及び包摂性（Inclusion）の推進により、すべての技術士が活躍し、社会課題の解決やウェルビーイング（Well-being）^{*2}の向上に貢献することを宣言します。

※1）DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）とは、多様性を包摂し、誰もが公平に活躍できる状態をつくり、新たな価値創出などの組織力を高めようという考え方

※2）ウェルビーイング（Well-being）とは、肉体的・精神的・社会的に満たされた状態

III 基本方針 ～DEI を推進する3つの「シンカ」～

1. 意識の深化～DEI 風土・文化の醸成～

日本技術士会は、技術士や技術士を目指す方の多様性を高め、誰もが活躍できる風土・文化を醸成します。また、これらの方が DEI 推進の意識を深め合えるよう支援します。

2. 仕組みの進化 ～多様な技術士の活躍～

日本技術士会は、仕組みや取組みの進化により、性別、年齢等の多様な会員が活躍できる環境を拡大します。これにより、DEI を推進する行動の促進や多様な技術士の活躍につながります。

3. 社会貢献で真価 ～多様な技術による社会課題解決～

日本技術士会は、技術を通じたコミュニケーションの機会を増やし、本会内外で DEI を実践する活動の輪を広げ、社会課題の解決やウェルビーイングの向上につなげることで、私たちの真価を一層発揮します。

以上

日本技術士会DEI推進宣言（概要図）

目指す姿

日本技術士会は、多様・多彩な技術者、技術をつなぐプラットフォームとして、誰もが能力を発揮し、誰もがその人らしく生きられる社会の実現に貢献します

Diversity (多様性)

性別、年齢、国籍、障害、知識、経験、専門性、価値観などの多様性を受け入れ、さらに高める

Equity (公平性)

すべての人が活躍できるよう、一人ひとりの個性や特性に応じた環境、ツールを公平に用意する

Inclusion (包摂性)

個性や特性のちがいを包摂することで、すべての人が能力を発揮し、組織全体で新たな価値を創出する

基本方針

DEIを推進する3つの「シンカ」

1. 意識の深化 ～DEI風土・文化の醸成～
2. 仕組みの進化 ～多様な技術士の活躍～
3. 社会貢献で真価 ～多様な技術による社会課題解決～

DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）とは、多様性を包摂し、誰もが公平に活躍できる状態をつくり、新たな価値創出などの組織力を高めようという考え方

【参考】取組みの方向性（イメージ） ※今後、アクションプランを検討予定

区分 3つの「シンカ」	日本技術士会の取組み	技術士・会員への期待
1. 意識の深化	- 多様な人材の育成に向け、技術士の情報提供を拡充 - DEIの意義や課題について知る機会を拡大 など	技術者倫理や DEI について学ぶ など
2. 仕組みの進化	- 技術士、会員、委員、役員、講演講師等の多様性を拡大 - 多様な会員が公平に活動できる仕組み・取組みを推進 - 技術士を目指す女性や若手の技術者が育つための取組みを推進 など	職場、地域組織等の DEI 推進に向けて行動 など
3. 社会貢献で真価	- 分野、経験等の多様性の包摂による本会の強みを発揮 - 技術士の交流を促すプラットフォーム機能の強化 - 企業、教育機関、行政等との連携を推進 - 海外の技術者団体との連携を強化 など	- 社会貢献活動に参加 - 良き理解者、相談相手として女性や若手など多様な人材を育成 - グローバルに活躍する技術者と情報を交換 など